

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

L G B T

2017

3

2017年2月25日発行
通巻219号

自分らしく生きる！

～誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して～

今回の特集は、「LGBT」という言葉の理解を深め、多様性を認め合い、人権を尊重し、誰もが自分らしく暮らせる社会づくりをめざし活動を行う一般社団法人 ELLY のメンバーからお話を伺いました！

LGBTって？

L [レズビアン]
lesbian

女性同性愛者

G [ゲイ]
Gay

男性同性愛者

B [バイセクシュアル]
Bisexual

両性を恋愛対象とする

T [トランスジェンダー]
Transgender

身体の性と心の性が不一致

LGBT はこれらの4つの言葉の頭文字をとった総称語です。
この他にもさまざまなセクシュアリティがあります。

性のあり方は人それぞれ

性のあり方は、おもに3つの要素があります。

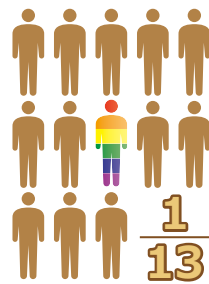
- **からだの性（身体的な性）**
性染色体や身体的な性別
- **こころの性（性自認）**
自分自身が自分の性別をどう考えているか
- **好きの性（性的指向）**
恋愛対象が主にどの性別か

これらの要素がそれぞれに関係し合うと性のあり方はさまざまなものになります。

一般社団法人 ELLY マネージャー 佐野 恒祐 さんに聞く！ ～現状とこれから～

これまで LGBT 講演の聴講者約 15,000 人（高校生以上対象）に『三重県民 LGBT 意識調査アンケート』を取ってきてみてきたものがあります。『LGBT という単語は知っているが正しい知識がない』特に 10 代の方です。そして中勢地区の活動が弱いこと。LGBT 当事者の方々は自己否定感から自殺やいじめ、不登校等に自分自身を追い込んでしまう傾向にあります。正しい知識がない故に知らないうちに傷付けてしまう言葉を発信してしまったり、先が見えない環境を作ってしまったのが今の現状社会なのかな？と思います。危機感の低さを私たちも気付くことができました。近くの身内ほどカミングアウトはしづらいです。ALLY（理解者）の方々に支えていただき、力を貸してもらい三重県全体で作り上げていくことが出来る活動です。見えない差別に苦しむことなく、LGBT を含む多様な方が生きやすい、住みやすい三重県。その為に継続した啓発活動、環境整備アドバイザー、居場所づくり、企業内配慮等コンサルタントをします。見える形として東京オリンピックまでに、日本初の同性パートナーシップ証明書が発行出来る三重県を目指します。

LGBT は 13 人に 1 人



一般社団法人 ELLY 代表 山口 颯一さん

この啓発活動をまだしていなかった今から約 3 年前、トランスジェンダーに悩んでいる県外の高校生の子の相談に乗っていました。その子は親にカミングアウトをすると、親からは全く理解のない言葉を浴び、ひどく傷ついている様子でした。元気が無く日に日に連絡が返ってこなくなり心配していたある日、ついに連絡が途絶えました。

その半年後、共通の知り合いを通して、その子が自殺したことを知りました。すごく憤りを感じ、そのことがきっかけで LGBT のことを知らない方に啓発の必要性を感じ活動をしていこうと決まりました。「理解する」その前に「まずは知ってほしい」。LGBT は身近な存在で自然的な自分らしさでもあります。LGBT であることで悩み、生きづらくなならない社会にするため、学校・企業・行政・病院等で講演活動を続けて「ALLY」を増やしていきます。そして、LGBT をきっかけに人それぞれの生き方が尊重され社会がより豊かになればと思っています。

※ALLY…ALLY（アライ）とは、LGBT の理解、応援者。



ステッカー



伊賀市で作成した
マグネットステッカー

伊賀市人権生活環境部 人権政策・男女共同参画課

にじ☆みえカフェって？



LGBT 当事者の方やその親御さんなどが相談・交流ができる場として毎月 1 回開催しており、10 代～ 50 代の方が県内各地から参加しています。周囲に相談できずに悩んでいる人の参加を募っています。(参加費 500 円) 参加してみたい方は、こちらまでご連絡ください。

メールアドレス : info@ellyjapan.com

にじ☆みえカフェ担当 出村 友希さん

ずっと性別に違和感があり、性的指向も他とは違うということを「自分だけがおかしいんだ」と思っていました。インターネットで調べてたどり着いた名古屋の当事者カフェに行き、初めて当事者に会い、相談するうちに、「自分だけじゃない」と安心して、居場所ができたことをとても嬉しく思いました。その後他にも三重県から当事者が来ていることを知り、三重県にもこのような場所が必要だと感じ、中高生でも安心して行ける、そして僕のように 40 歳近くなっても行きやすい落ち着いた雰囲気のカフェを作りたいと思いました。会を重ねるうちに、まだまだ社会では理解されていない、自分らしさを出せないという現実も痛感します。LGBT その他、当事者にはそれぞれの悩みや困っていることがあります。直接会って話したり、相談できることは他では代えがたい安心感があります。当事者に安心して来てもらえるようにクローズで開催していますが、今後どのように当事者に知ってもらおうか？ということに悩んでいます。今までは、SNS や講演会でお伝えしてきましたが、本当に困っている人が、SNS やインターネットでの情報も得ることができずに悩んでいるのではないかと考えています。

にじ☆みえカフェに参加している 10 代～ 50 代の方々にお話を伺いました。



浦ママさん (50 代)

私は LGBT 当事者の母親で、子どものカミングアウトをきっかけに相談できる場所を探していました。三重でもこのような当事者が集まれる交流会をしたいという思いをもった出村さんと出会い、是非その夢を実現して欲しいと応援し続けています。三重県には、息子一人だけが悩みを抱えていると思っていましたが、ここにきて仲間がいることが分かり、息子も私も元気になりました。今後はこの活動をライフワークにしていきたいと思っています！



A さん (40 代)

新聞記事でにじ☆みえカフェのことを知り、参加するようになりました。普段は誰にもカミングアウトせずに生活しています。同じ悩みをもった人と交流したり、中学生の参加者の相談にのったり、気兼ねなく話をしたりと、安らぐことができとても助かっています。



がんちゃん (40 代)

子どものころから、性別に違和感を持っていました。女性として過ごしてきたけれど、スカートへの抵抗はずっとありました。自分の感情は抑えこんで自分は変態なんだ、と思い込み、周囲に合わせて何十年も生きていました。4 年前に鬱状態になりましたが、ここに参加するようになってから、自分の気持ちに正直になることができました。子どもが 2 人いて、子どもの 1 人もセクシュアリティに関する悩みを抱えています。当事者でありながら当事者の親であり、ありのままを受け入れられるようオープンな家庭を築いています。



YSK さん (20 代)

ツイッターでにじ☆みえカフェのことを知り、参加するようになりました。県外ではオープンな場所での開催もありますが、にじ☆みえカフェは個室なので顔や個人情報が漏れることもありません。三重県でこのような会はめずらしく、SNS でつながることができない人や、さまざまな方とつながりができ、交流することができました。



冬馬さん (10 代)

高校 1 年生のときは女子として過ごしていました。スカートを履くことに抵抗があり 2 年生のときはズボンを履くようになりました。そのころ、ツイッターでにじ☆みえカフェのことを知り、参加してみようと思いました。ここにきて、輪が広がり、知識も増えました。中学校 3 年生くらいからインターネットで自分の性別違和について調べていましたが、インターネットでは得られないことを、ここにいる先輩たちから学ぶことが多いです。人生相談ができた、将来こんな大人になりたい！と思える人たちに会うことができました。自分の将来に不安を抱えていましたが、今は将来の夢も持つことができました。

三重ぐるり MIEGURURI

「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「人権」。人権に関わる活動をしている団体を、県内の市民活動センターから紹介していただきました。

憲法9条を守る会 in いなべ

情報提供：みえきた市民活動センター

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野 1350-1 安田喜正 ☎0594-72-2877



合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」本番

憲法9条を守る会 in いなべは、戦争のない平和な国づくりを目指すことを目的に戦争体験談や講演会、映画上映会などの人権擁護・啓発活動を行っています。

昨年8月には、設立10周年記念行事・合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を開催し、観客スタッフ合わせて800人以上が集まりました。1月から準備をはじめ、4月に原作者の小出さんを訪ね、「この歌は子どもを中心に、学習しながら歌ってください」とお話を聞き、また練習場所に「あじさいの家」という障がい者施設を借りたことから、いなべでは「子どもを中心に障がい者も含めた歌う会」となりました。

日本国憲法は国民主権、戦争放棄、基本的人権の尊重を謳い、平和で豊かな国を国民が力を合わせ作ろうと掲げられています。このぞう列車を歌う会は「一人ひとりが団員。色んな考えを持っているが、互いに相手を尊重し、力を合わせ築く」という思いで作られ育っていきました。

興味のある方はご一報ください。

先の戦争での悲惨な体験を二度と繰り返すまいと誓い、守ってきた平和憲法です。共に学び合い、平和について考えましょう。

津市障がい者相談支援センター

情報提供：津市市民活動センター

〒514-0027 津市大門 7-15 津センターパレス 3階 ☎059-272-4554 ✉tsu-soudan@true.ocn.ne.jp



津市障がい者相談支援センターは、障がいがある方が地域で自立した生活を送り社会参加ができるための、生活・福祉・就労などについての相談窓口です。

また、当センターでは障がい者虐待防止センターも併設しております。障がいがある方が家庭や施設、職場などで①身体的虐待②経済的虐待③心理的虐待④性的虐待⑤ネグレクトなど、虐待ではないかと疑われる行為や状態を見つけたらご連絡をください。皆さんの協力が、障がい者の皆さんを虐待から守り人権を擁護できます。

平成28年4月1日より「障害者差別解消法」が施行され、地方公共団体等及び民間事業者における障がいを理由とする差別を解消するための措置などについて定められました。この法律では、障がいを理由とする「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮の不提供」が禁止され、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的としています。

当センターにおいては、地域における障がい者への理解を啓発しながら、偏見や人権侵害をなくすための活動を続けていきたいと考えています。

相談方法は、電話・来所・訪問・メール等でもお受けいたします。

相談方法は、①電話相談②来所相談③訪問相談④EメールやFAXでの相談をお受けしております。相談における個人の情報や秘密は、相談や支援の目的以外には使用いたしませんので、ご安心ください。

自死遺族サポート ガーベラ会

情報提供：松阪市市民活動センター

☎ 090-9182-9918 (松下さん) ✉ mie.gabera@gmail.com 🌐 <https://www.miegabera.jp/>



県内で年間約 400 人が自死で亡くなっていることをご存じですか。そして、その遺族は 1 人の自死の約 5 倍になります。自死遺族の中にはつらく、悲しい思いを周囲に語ることができず、社会的に、また家族の中からも孤立してしまう人がたくさんいます。自死遺族自らが「心に抱える思いを安全な環境で、安心して語れる場が必要ではないか」という思いから、立ち上げたのが「ガーベラ会」です。大切な人を自死で亡くされた方のサポートを目的にさまざまな活動をしています。メインは、月 1 回、松阪・津・地域を中心に自死遺族を対象にした「わかちあいの会」です。他にも追悼法要、自死遺族やその家族、自殺防止対策の活動を行っている団体や個人を対象にした交流会等を開催したり、「遺族が一人でも増えないように」との思いから、講演会などを通して、自殺防止の啓発活動にも取り組んでいます。

まずはメールか電話で
お問合せください。

「わかちあいの会」は毎月第 1 土曜の午後に開催しています。自死遺族同士が集まり、大切な人を突然亡くした悲しみや想いを安心して語り合える場所です。場所などの詳細は、ホームページをご覧ください。

NPO法が一部改正されます ～平成 29 年 4 月 1 日施行～

法人制度に関する変更

- ① 認証申請の縦覧期間が現行の 2 か月から 1 か月へと短縮されます。
- ② 貸借対照表の公告が必要になります。(施行：公布の日から起算して 2 年 6 か月以内)
前事業年度の貸借対照表の作成後、次の①～④の方法のうち定款で定める方法により公告しなければなくなるため、次のうち①以外を選択する NPO 法人で定款の変更手続きが必要

公告方法

- ①官報に掲載する方法 ②日刊新聞紙に掲載する方法 ③電子公告（ホームページ）
④公衆の見やすい場所に掲示する方法 （電子公告は内閣府ポータルサイトも含む）

これに関連して、現行では毎事業年度必要である資産総額の法務局への登記が不要になります。

- ③ 内閣府ポータルサイトにおける情報提供が拡大されます。
- ④ 事業報告書等を備え置く期間が延長されます。

NPO 法人が事業報告書等を事務所に備え置かなければならない期間が、現行の「翌々事業年度の末日までの間」から「作成の日から起算して 5 年が経過した日を含む事業年度の末日までの間」に延長されるとともに、所轄庁において閲覧・謄写できる事業報告書等書類が、現行の「過去 3 年間に NPO 法人から提出を受けたもの」から「過去 5 年間に NPO 法人から提出を受けたもの」に拡大されます。

認定NPO法人・仮認定NPO法人・三重県指定NPO法人に関する変更

1. 海外への送金又は金銭の持出しに関する書類の事前提出が不要となります。
事前提出に代わり、送金等の金額にかかわらず毎事業年度 1 回の事後提出となります。
2. 役員報酬規程等を備え置く期間が延長されます。
事業報告書等を備え置く期間の延長と同様に延長されます。所轄庁において閲覧・謄写できる役員報酬規程等書類についても同じく延長されます。
3. 「仮認定」NPO 法人の名称が「特例認定」NPO 法人に改められます。

H P 「NPO法の改正情報（平成 28 年 NPO法の改正について）」

<http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

問い合わせ先 三重県男女共同参画・NPO課NPO班

電話 059-222-5981 FAX 059-222-5984 メールアドレス：seiknpo@pref.mie.jp



募集とご案内

アルミ缶を持って参加しよう！ ～四日市ボランティアキャンペーン～

アルミ缶を通して、身近にボランティア活動を感じてもらえるイベントです。あなたもアルミ缶を持って参加して、ボランティアを身近に感じませんか？

日 時 2017年3月18日(土) 10:00～14:00
※順延日 3月19日(日)

場 所 四日市市民公園(四日市市安島1丁目92-4)

内 容 ●アルミ缶であそぼ！
アルミ缶を使った実験、クイズ、ランタンづくり、アルミ缶飛ばし、的入れ
●アルミ缶アート(投票で優秀作品を決定！)
●企業や学校のステージ
●防災食のふるまいなど内容盛りだくさん！
●市内のご当地キャラたちも大集合！

対 象 ボランティアに関心のある方ならどなたでも

参加費 無料

事前申込 不要

主催・問合せ 四日市市社会福祉協議会
四日市市ボランティアセンター

電 話 059-354-8144 **FAX** 059-354-6486

Eメール y-vc@m3.cty-net.ne.jp

HP <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/02/>

MDC企画 第2回特別講演会 ～朝鮮ろう者たちを支援してきて～

日 時 2017年3月18日(土)
14:00～16:00(受付 13:30～)

場 所 みえ県民交流センター ミーティングルーム A・B
(津市羽所町700 アスト津3階)

講 師 桑原 絵美氏
※情報保障：手話のみ(音声通訳・要約筆記はつきませんのでご了承ください)

参加費 前売 ①2,000円 講演会
②6,000円 講演会+囲む会(定員あり)
当日 ③3,000円 講演会
※高校生は学生証提示で、料金より500円割引
※中学生以下無料、託児なし

申込み締切 2017年3月10日(金)

問合せ・申込み **Eメール** mdc_mie_office@yahoo.co.jp

「MDC講演会」と件名に明記の上、(1)①講演会のみ②講演会+囲む会(いずれか選択)、(2)氏名・ふりがな、(3)ろう or 聴者、(4)住所(都道府県)、(5)連絡先メールアドレスを記入し、上記メールにてお申込みください。

主 催 みえでふ俱樂部(MDC)

カウンセリング実践研修会のご案内

不登校、発達支援、生育支援などの先進的な取り組みをしている松山赤十字病院小児科心理カウンセラー歴28年の平林茂代先生をお招きして、日常生活に活かすカウ

セリングの講演&ワークショップを開催します。職場・家庭で人とかかわりを実践中の方、心理学、カウンセリングを勉強中の方などにおすすめします。また、平林先生によるカウンセリング実践講座(月1回、1年間)を4月に津で開講します。お問い合わせください。

日 時 2017年3月19日(日) 10:00～16:00

場 所 三重県総合文化センター 文化会館2階 中会議室

内 容 カウンセリング実践スキルアップ研修会、体験学習

講 師 平林 茂代氏(えひめ親子・人間関係研修所所長、臨床発達心理士、前松山赤十字病院小児科心理カウンセラー)
河合 卓子氏(NPO法人みえ親子・人間関係研究会理事長)

定 員 30名

参加費 一般 3,500円 会員 3,000円

申込締切 2017年3月10日(金)(定員になり次第締切)

問合せ・申込み

電 話 059-246-5562(みえ親子事務局)
090-7047-2525(河合携帯)

FAX 059-227-4619

主 催 NPO法人みえ親子・人間関係研究会

平成28年度アルコール関連問題啓発フォーラム

お酒は、適切な飲酒がすぎると、肝機能障害など自身の健康を害するばかりでなく、飲酒運転、児童虐待、DV、自殺などに繋がる場合があります。本フォーラムは、これらアルコール関連問題について学べるような内容となっています。

日 時 2017年3月25日(土)

10:30～16:00(10:00開場)

場 所 三重県庁講堂(津市広明町13番地)

内 容

●第1部

10:40～11:00

三重県アルコール健康生涯対策推進計画

発表：猪野 亜朗先生(かすみがうらクリニック副院長)

11:00～12:00

基調講演「アルコール依存の脳科学」

講師：廣中 直行先生(㈱LSIメディアエンス薬理研究部顧問)

●第2部

13:00～15:02 映画上映会「カノン」

母親はアルコール依存症だった！

15:10～16:00 対談 アルコール依存症と家族

雑賀 俊朗監督(「カノン」監督)×村上 優先生(国立病院機構榊原病院院長)

参加費 無料

定 員 先着250名、要申込(電話またはFAXで)

問合せ・申込み

三重県立こころの医療センター医療福祉グループ 担当：山元

電 話 059-235-2125

FAX 059-235-2135

主 催 三重県

共 催 三重断酒新生会 三重県アルコール関連疾患研究会

SHO ガッコウ ～第8回講座報告と第9回講座のお知らせ～

2月5日(日)に第8回講座「このまちを、ここから変える」が終了しました！名古屋わかもの会議の事例を聞き、『三重の魅力』をテーマにグループトークを行いました。次回のSHO ガッコウは『地球環境カードゲーム「マイアース」体験会』です！

鈴木孝廣さん(元「名大マイアースの会」代表)をゲストにお迎えし、環境を学べるボードゲームを体験します！詳細はHPをチェック！

<http://mieshoggakkou.jimdo.com/>



～参加者募集中！～

- 日 時** 2017年3月15日(水) 18:30～20:30
テーマ 『地球環境カードゲーム「マイアース」体験会』
ゲスト 鈴木孝廣さん(元「名大マイアースの会」代表)
場 所 アスト津3階 みえ県民交流センター
対 象 ①三重県に在住または通学・通勤している18～35歳くらいの方
 ②若者の自主性を尊重した応援をしたい36歳以上の方
 ③テーマに興味のある方

定 員 8名

参加費 500円(SHO ガッコウメンバーは無料)

申込方法 ①お名前②年齢③お電話番号を記載して、メール(mieshoggakko@yahoo.co.jp宛、件名に申込講座テーマを記入してください)にてお申し込みください。

※SHO ガッコウは、三重の若者同士がつながり、1人1人の個性が認められ、周りの目を気にすることなく自分の夢を語り、それに向かって進むことができる社会の実現に向け活動を行っています。毎月1回勉強会を実施し、普段出会う機会がない方たちとつながるきっかけをつくります。メンバーは随時募集中！当日申込も可能です！

問合せ先 SHO ガッコウ事務局

TEL 059-222-5995

FAX 059-222-5971

✉ mieshoggakko@yahoo.co.jp



「第7回 地域コミュニティトーク」を開催しました！

1月22日(日)に三重県在住の外国人の方に母国について教えていただく第7回地域コミュニティトーク『～英語で聴く～ニューヨークのハナシ』を開催しました。今回はニューヨーク出身の講師をお迎えし、全編英語でお話ししていただきました！参加者の皆さんは英語で質問をしたり積極的に参加をされていました。インターネットからはなかなか得られない生の情報や異文化に触れられる貴重な経験ができました。



みえイーパーツリユースPC 寄贈プログラム 寄贈式と交流会が開催されました！

2月4日(土)にアスト津で三重県内の市民活動団体にパソコンを贈る『みえイーパーツリユースPC プログラム』の寄贈式と交流会が開催され、本年度は50台が寄贈されました！

交流会の『人間SNS』も大変盛り上がり、参加者の皆さんは活発に交流していました。

クラウドファンディング目標金額達成しました！

FAAVO 三重で挑戦していたプロジェクト『【三重から国際協力！】県内の「使える」情報を発信したい！～国際編～』が皆さまから合計89,000円のご支援をいただき、無事目標金額に達しました。ご協力頂きありがとうございました。

検算用HP・冊子も3月に完成予定です。

みえ県民交流センターの次期指定管理者について

平成29年4月からのみえ県民交流センターの指定管理者を、引き続き特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターが行うことになりました。

みえぎんNPOローン

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

宝酒造 タカラ・ハーモニストファンド平成 29 年度助成事業

- ① 3 月 31 日 (金) 必着
- ② 森林や水辺等の自然環境の保護、整備をするための活動、研究に取り組む団体、個人
- ③ 希望額を申請 (総額 500 万円程度、10 件程度)

NHK 厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」

- ① 3 月 31 日 (金) 必着
- ② 地域に根ざした福祉活動に取り組む NPO 法人、任意のボランティアグループ等
- ③ 支援金部門：1 団体の上限 100 万円 (10 団体予定)、リサイクルパソコン部門：1 団体 3 台まで (総数 50 台予定)、東日本大震災復興支援部門：1 団体の上限 100 万円 (5 団体予定)

ポーラ伝統文化振興財団 日本の伝統文化の維持・向上への助成

- ① 3 月 31 日 (金) 当日消印有効
- ② 伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能及び行事など日本無形文化財の記録や研究、保存・伝承活動に取り組む団体、個人
- ③ 1 件 30 万円～200 万円程度

あしたの日本を創る協会 地域活動団体への助成「生活学校助成」

- ① 3 月 31 日 (金) 必着
- ② 近所の一人暮らしのお年寄りや子どもたちの見守り、ごみの収集や資源リサイクル活動など身近な地域や暮らしの問題に取り組む地域活動団体
- ③ 1 団体の上限 6 万円 (初年度 3 万円、2 年目 3 万円)

連合・愛のキャンパ「中央助成」

- ① 3 月 31 日 (金) 必着 ② 海外や国内で救援・支援活動に取り組む NGO・NPO 団体等
- ③ 1 団体の上限なし ※「地域助成」も同時募集中

砂防フロンティア整備推進機構 「砂防ボランティア基金」平成 29 年度助成事業

- ① 3 月 31 日 (金) 必着
- ② 土砂災害被災地域や砂防行政への支援活動、地域に根ざした防災活動等に取り組む砂防ボランティア団体、個人
- ③ 採否及び金額は、運営審議委員会において決定

スタッフルール

みえ NPO ネットワークセンターは平成 24 年 4 月 1 日より、みえ県民交流センター (みえ市民活動ボランティアセンター) の指定管理者として管理運営に携わってきましたが、引き続き本年度 4 月より 5 年間指定管理者として、管理運営を任されることになりました。

これからも、ボランティア団体、NPO 団体等のさまざまな活動を支援するとともに、訪れる多くの人たちに親しみを持ってもらえるようスタッフ一同努めてまいりたいと思います。

また、毎月発行しておりました「みえ市民活動・ボランティアニュース READER」は、年 4 回 (3 月、6 月、9 月、12 月) の発行となります。

紙面においては、平成 27 年 6 月号から一部変更し、その成果として「特集コーナー」や「三重ぐるり」「イベント情報」などに好評を得ており、今後も親しみやすく読みやすい紙面づくりに工夫を重ね、より一層みなさまに手にとっていただける内容を心がけていきたいと思っています。(富田)



特定非営利活動法人

(2017 年 1 月 10 日～2017 年 2 月 9 日認証分)

- ① 特定非営利活動法人 三重県木造住宅耐震化支援協会
- ② 松阪市五月町 1384 番地 4
- ③ まちづくり、環境、地域安全、消費者
- ④ 2017 年 1 月 16 日
- ⑤ 理事長 秋庭 和政

- ① NPO 法人 HA-HA-HA
- ② 津市久居野村町 430 番地 49
- ③ 保健、子ども、情報化社会、経済活動、職業能力、その他、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2017 年 1 月 16 日
- ⑤ 理事長 大越 加奈

- ① 特定非営利活動法人 love trinity
- ② 多気郡明和町大字濱田 218 番地
- ③ 保健、まちづくり、学術、災害
- ④ 2017 年 1 月 18 日
- ⑤ 理事長 北村 直哉

- ① 特定非営利活動法人 アクティブ名張スポーツクラブ
- ② 名張市夏見 2812 番地
- ③ 社会教育、観光の振興、学術、環境、地域安全、国際、職業能力
- ④ 2017 年 1 月 18 日
- ⑤ 理事長 旭 保

- ① 特定非営利活動法人 メイク
- ② 津市大門 7 番 15 号 津センター内 レス 3 階 津市民活動センター内
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、観光の振興、学術、環境、災害、地域安全、人権、国際、男女、子ども、職業能力、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2017 年 1 月 23 日
- ⑤ 理事長 川北 啓子

- ① 法人名 ② 主たる事務所の所在地
- ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

- ① 特定非営利活動法人 メリーボビンス
- ② 津市高茶屋 5 丁目 4 番 14 号
- ③ 社会教育、環境、子ども、その他
- ④ 2017 年 1 月 25 日
- ⑤ 理事長 吉住 佳代子

- ① 特定非営利活動法人 日中友好友会の会
- ② 鈴鹿市徳居町 1139 番地の 2
- ③ 保健、観光の振興、国際、子ども
- ④ 2017 年 1 月 25 日
- ⑤ 理事長 小林 充

- ① 特定非営利活動法人 忍 nin の森
- ② 伊賀市柘植町 5377 番地
- ③ 保健、観光の振興、職業能力
- ④ 2017 年 1 月 31 日
- ⑤ 理事長 仙波 由美子

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下 JA バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関 (地域防災総合事務所 [桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局 [南勢志摩、紀北、紀南]) / 三重県栄町庁舎 (情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / MieMu (三重県総合博物館) / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場 / 各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下 JA/JA 三重信連

株式会社 阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。